

2024年
(令和6年)

5月21日

(第三種郵便物認可)
昭和23年4月15日

毎月3回発行
(第1、第2、第3火曜日)

今号の特集

- 健康機能性飲料特集 ⑧～⑨面
- スパイス特集 ⑩～⑪面
- ペットフード特集 ⑫～⑬面

中部飲食料新聞社ホームページ
http://chuin.net/【業界情報発信中】



第3507号
発行所
中部飲食料新聞社
名古屋市中村区名駅5-18-9
電話(052)571-7116代表
FAX(052)571-7118

東京局
東京都中央区日本橋横山町1-4-203
電話(03)5614-7531
FAX(03)5614-7532

大正から
食を伝えて100有余年

中部飲食料新聞

マックスバリュ東海

中期経営計画策定

3年間で500億円を投資

マックスバリュ東海はサステナビリティ基本方針及び中期経営計画(24～26年度)を策定した。サステナビリティ基本方針は「想いをつなぎ、一途に「かたち」に。マックスバリュ東海は、「笑顔」と「元気」、「幸せ」あふれる地域を共創します。」として、「私に「うれしい」店づくり」、「もったいないゼロ社会」の実現」など社会及び同社にとつての機会・リスクの観点から6つのマテリアリティ(重要課題)を設定。これらの課題解決を通じて企業価値の向上、成長戦略実現の両立を図る。そして地域とのつながりにより生まれる

ありがとうの総量を追求していく。新中期経営計画については前中期経営計画(20～22年度)が目標に対して、収益性では消費スタイルの変化への対応が進むなど好感の一方で、成長性についてはコロナ禍や人材高騰の影響などによる修正があり課題を残した。店舗スタイルの開発などでは成果を挙げた。新中期経営計画ではインフレフレンドやライフスタイルの変化、サステナビリティの重要度の高まりなどを重要な環境認識として、次代の成長実現に向けて既存事業の収益最大化や経営基盤のさらなる強化などに取り組む。3つの基本方針として「事業構造の改革」、「テナビリティ経営の推進」を掲げ、特に「事業

森永製菓 パセノール研究新成果発表

森永製菓は、「パセノール」研究新成果および新プロジェクト発表会」を5月9日に都内で開催。同社独自素材「パセノール」でヒトにて長寿遺伝子と



味の素AGFは、(株)カフェファクトリーが持つ「豆」が持つ可能性について、おいしさを引き出す技術のみならず、欠点豆などで廃棄されるコーヒイ粉やコーヒー抽出後のコーヒイ粉などの活用などについて、様々なパートナーと研究を行っている。同社とハイファ研究所は、10年よりコーヒイ抽出後の粉をキノコ栽培に活用する共同研究に取り組んでいる。

ビームサントリース社をサントリーグローバルスピリッツに

サントリーグローブの「Beam Suntory Inc. (ビームサントリース社)」は、今年4月30日付で社名を「Sunstory Global Spirits Inc. (サントリーグローバルスピリッツ社)」に変更した。14年のサントリーホールディングスとの経営統合以降、同社は品質の向上及び、プレミアム化戦略を推進し、世界の消費者に高品質な商品やサービスを提供する「グローバルスピリッツカンパニー」へと成長。統合から10年を迎え、今回、社名を新たに「サントリーグローバルスピリッツ」とした。

味の素AGFは、「ハナC抽出後粉使用、ハナビラタケの新効能発見」を発表した。味の素AGFは、(株)カフェファクトリーと共同研究で、コーヒー抽出後の粉「コーヒイグラウンズ」を用いたハナビラタケの栽培方法並びに機能性成分を強化したハナビラタケに関する特許を3月に取得したことを発表した。同社は「コーヒイ豆が持つ可能性について、おいしさを引き出す技術のみならず、欠点豆などで廃棄されるコーヒイ粉やコーヒー抽出後のコーヒイ粉などの活用などについて、様々なパートナーと研究を行っている。同社とハイファ研究所は、10年よりコーヒイ抽出後の粉をキノコ栽培に活用する共同研究に取り組んでいる。

ミツカングループベンチャーキャピタルファンドにLP出資

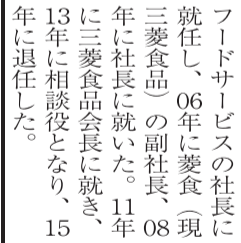
ミツカングループは、Beyond Next Ventures(株)が運営する「Beyond Next Ventures」3号投資事業有限責任組合へのLP出資を4月に実施した。

おけるテクノロジーやビジネスモデルに特徴のあるスタートアップとの関係構築や協業を実現し、自社の枠を超えたオープンイノベーションの推進を目指す。

中野 勘治氏逝去
(元)三菱食品代表取締役社長、元三菱食品代表取締役
役(会長) 5月8日、逝去。84歳。

「研究成果」パセノールはパッションフルーツ由来のポリフェノール成分「ピセアタンノール」を同社の特許技術で抽出して完成させた。60代の男女を対象に1日当たりピセアタンノール100mgを含む飲料を2週間摂取させた結果、解析対象者28名全員にサチエイン遺伝子の発現が有意に増加した。

中日ビル、ロピア
名古屋栄の中日ビルが新しくオープンした。地上32階の近代的な構えで域内外の人気レストランをはじめ早くも多くの人が詰めかけたが、象徴的だった回転展望レストランが無くなったのは少し寂しい。



中野勘治氏(84歳)

ペットを通じて地域社会とのコミュニケーション

あらたグループ

ペットフード・用品の総合商社



シャペル株式会社

本社 〒486-0802 愛知県春日井市桃山町3-105 TEL0568-85-4111(代表) FAX0568-85-4251